



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユニカフェ

コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩田 斉

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長

(氏名) 長縄 明彦

TEL 03-5400-5444

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,362	△23.8	480	246.8	535	626.2	402	367.2
25年3月期第2四半期	8,350	△14.2	138	△51.9	73	△70.1	86	△64.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 496百万円 (318.5%) 25年3月期第2四半期 118百万円 (△57.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	29.10	—
25年3月期第2四半期	6.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,703	6,738	69.4
25年3月期	10,753	6,311	58.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 6,738百万円 25年3月期 6,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,174	△28.3	550	64.5	608	137.0	459	121.8	33.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	13,869,200 株	25年3月期	13,869,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	26,350 株	25年3月期	26,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	13,842,977 株	25年3月期2Q	13,843,220 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日までの6ヶ月間）における当社グループを取り巻く環境は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景とした円安や株高傾向を受けて、輸出関連企業を中心とした業績の好転や、消費マインドが改善するなど、景気は緩やかに回復しております。一方で、欧州経済の回復の遅れや中国経済の停滞など、海外景気に対する不安感や円安進行による原材料価格の上昇、来年度からの消費税増税などによる国内景気の下振れが懸念されております。

このような状況の中、レギュラーコーヒー業界につきましては、コンビニエンスストアでのカウンターコーヒーの隆盛や、機能性を重視した新たな商品展開等により、大きく変化しつつあります。一方で、デフレ状況から脱却できないまま、同業各社が激しい競争環境の下で消耗戦を繰り広げている状況が長期間にわたって続いており、景気の先行きに対する不透明感から、消費者の消費志向も節約型・低価格志向型が定着しております。

なお、当社の業績に多大な影響を及ぼすコーヒー生豆相場につきましては、前年と比べ、低い水準で推移しており、今後低位安定に推移すると予想されます。

このような経営環境の下、当社グループは、「コーヒーをコアに人と環境にやさしい企業を目指す」の企業理念の下、「選択と集中」「シナジー効果の実現」を基本方針とし、事業基盤の強化と企業価値向上に取り組み、併せて業務活動に関わる法令等の遵守を徹底し、内部統制の強化に注力しております。また、安全性、効率化、品質重視、技術革新をキーワードに、「その上のコーヒー」を常に追い続け、チャレンジを続けております。

「選択と集中」につきましては、営業リソースを「コーヒー関連事業」に集中し、営業体制・製品開発体制の強化と周辺事業からの撤退を進めており、「コーヒー関連事業」以外の事業は、連結子会社の上海緑一企業有限公司を通しての事業である「パルプモールド事業」のみとしております。

「シナジー効果の実現」につきましては、神奈川総合工場をコアコンピタンスとした生産工程全般の効率化を進め、安全、品質、技術力の強化を図るとともに、管理体制の一層の強化に努め、「コーヒー関連事業」の取扱数量拡大に注力しております。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

① 「コーヒー関連事業」

「コーヒー関連事業」につきましては、国内において主力の工業用コーヒーの取扱数量の増加によるシェアの拡大に注力しました。業務用コーヒー・家庭用コーヒーの分野におきましては、OEM製品、NB・PB製品の販売に注力し、取扱数量増加に向けて、新規取引先の開拓と既存取引先に対する新製品提案を推進しました。

工業用コーヒーにつきましては、コンビニエンスストアでのカウンターコーヒー販売の影響により缶コーヒー需要がやや低迷傾向にある中で、第1四半期連結累計期間に引き続き、主要取引先における取扱数量が好調に推移したほか、期初より低調に推移していた一部の主要取引先における取扱数量がやや回復したため、当第2四半期連結累計期間の取扱数量は、前年を大きく上回りました。

業務用コーヒーにつきましては、昨今のカフェチェーンの需要拡大に合わせ営業活動を強化したことにより、主要取引先における取扱数量が好調に推移しました。また、「シナジー効果の実現」の具体的な取り組みの一つとして、UCCグループ間での取扱数量の拡大に注力した結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、前年を大きく上回りました。

家庭用コーヒーにつきましては、販売管理体制と営業活動の強化に取り組みましたが、NB・PB製品の取扱数量の拡大には至らず、当第2四半期連結累計期間の取扱数量は、前年を下回りました。

以上の結果、取扱数量につきましては前年を上回りましたが、コーヒー生豆相場が前年に比べ低い水準で推移したことに伴って販売価格が低下したこと、また、前連結会計年度の期中より一部の取引先において、原材料のコーヒー生豆が支給されることとなったため、その売上高が加工賃相当額に減額となったことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は62億60百万円（前年同期比24.2%減）となりました。

利益面では、引き続き高付加価値製品の販売が好調であったことに加えて、取扱数量増加に伴う生産工程の効率化並びに販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、営業利益は4億76百万円（前年同期比275.6%増）となりました。

② 「パルプモールド事業」

「パルプモールド事業」につきましては、連結子会社の上海緑一企業有限公司を通しての事業であり、主要取引先の売上数量が好調に推移しましたが、一部の取引先における売上数量は、前年を大きく下回りました。また、前年より為替相場が円安に推移したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1億2百万円（前年同期比12.1%増）となりましたが、その営業利益は、人件費の増額及び設備老朽化に伴うメンテナンス費用の増加により製造原価が上昇した結果、3百万円（前年同期比72.0%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は63億62百万円（前年同期比23.8%減）、営業利益は4億80百万円（前年同期比246.8%増）、経常利益は5億35百万円（前年同期比626.2%増）、四半期純利益は4億2百万円（前年同期比367.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比10億50百万円減少し、97億3百万円となりました。増減の内訳は、流動資産が7億99百万円減少いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が1億88百万円、現金及び預金が8億88百万円減少したことによります。また、固定資産が2億50百万円減少いたしました。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比14億78百万円減少し、29億64百万円となりました。増減の内訳は、流動負債が14億98百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が14億89百万円減少したことによります。また、固定負債が20百万円増加いたしました。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比4億27百万円増加し、67億38百万円となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は69.4%となり、前連結会計年度末比10.7ポイント増加しております。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ8億88百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には10億66百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、8億12百万円(前年同四半期は94百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が5億31百万円、売上債権の減少1億90百万円、仕入債務の減少14億89百万円及び、減価償却費1億17百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13百万円(前年同四半期は37百万円の獲得)となりました。これは主に、投資計画に基づいた13百万円の有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は73百万円(前年同四半期は3億75百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額68百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想及び個別業績予想につきましては、平成25年10月31日公表の「平成26年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,954,906	1,066,188
受取手形及び売掛金	2,662,672	2,473,828
商品及び製品	269,430	255,660
仕掛品	24,324	30,693
原材料及び貯蔵品	224,572	195,356
繰延税金資産	109,411	109,411
その他	44,744	358,912
貸倒引当金	△383	△360
流動資産合計	5,289,680	4,489,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,998,461	4,041,482
減価償却累計額	△1,476,621	△1,544,803
減損損失累計額	△164,708	△190,285
建物及び構築物（純額）	2,357,131	2,306,393
機械装置及び運搬具	3,376,554	3,416,550
減価償却累計額	△2,747,575	△2,784,447
減損損失累計額	△200,763	△231,939
機械装置及び運搬具（純額）	428,214	400,164
土地	1,639,318	1,639,318
その他	214,384	216,957
減価償却累計額	△185,236	△192,412
減損損失累計額	△1,512	△1,747
その他（純額）	27,635	22,797
有形固定資産合計	4,452,300	4,368,674
無形固定資産		
ソフトウェア	6,932	5,986
その他	86,196	99,072
無形固定資産合計	93,128	105,059
投資その他の資産		
投資有価証券	540,915	362,011
破産更生債権等	3,981,999	3,981,998
その他	55,584	44,584
貸倒引当金	△3,659,686	△3,648,686
投資その他の資産合計	918,812	739,908
固定資産合計	5,464,241	5,213,641
資産合計	10,753,922	9,703,333

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,436,352	1,946,987
短期借入金	460,000	460,000
未払法人税等	62,793	145,455
賞与引当金	56,334	51,131
その他	377,480	290,455
流動負債合計	4,392,961	2,894,029
固定負債		
繰延税金負債	26,111	51,095
その他	23,626	19,421
固定負債合計	49,738	70,516
負債合計	4,442,699	2,964,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,216,500	4,216,500
資本剰余金	1,020,799	1,020,799
利益剰余金	1,091,943	1,425,615
自己株式	△38,923	△39,056
株主資本合計	6,290,319	6,623,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,152	92,269
為替換算調整勘定	△26,249	22,659
その他の包括利益累計額合計	20,903	114,929
純資産合計	6,311,222	6,738,787
負債純資産合計	10,753,922	9,703,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,350,893	6,362,845
売上原価	7,394,088	5,117,466
売上総利益	956,804	1,245,379
販売費及び一般管理費	818,387	765,350
営業利益	138,416	480,028
営業外収益		
受取利息	0	40
受取配当金	1,228	754
負ののれん償却額	13,488	—
受取家賃	8,814	3,679
投資事業組合運用益	—	54,907
受取保険金	32,868	3,840
その他	8,909	5,255
営業外収益合計	65,310	68,477
営業外費用		
支払利息	3,070	1,502
不動産賃貸原価	55,336	—
投資事業組合運用損	54,036	—
為替差損	1,509	11,929
その他	16,101	24
営業外費用合計	130,053	13,456
経常利益	73,673	535,049
特別利益		
投資有価証券売却益	34,637	—
固定資産売却益	—	74
特別利益合計	34,637	74
特別損失		
固定資産除却損	—	0
リース解約損	—	3,747
特別損失合計	—	3,747
税金等調整前四半期純利益	108,310	531,377
法人税、住民税及び事業税	22,072	128,490
法人税等合計	22,072	128,490
少数株主損益調整前四半期純利益	86,238	402,887
四半期純利益	86,238	402,887

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	86,238	402,887
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	29,144	45,116
為替換算調整勘定	3,362	48,908
その他の包括利益合計	32,506	94,025
四半期包括利益	118,745	496,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,745	496,912
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	108,310	531,377
減価償却費	125,242	117,597
負ののれん償却額	△13,488	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,017	△23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,435	△5,202
受取利息及び受取配当金	△1,228	△794
支払利息	3,070	1,502
固定資産除却損	—	0
投資事業組合運用損益 (△は益)	54,036	△54,907
投資有価証券売却損益 (△は益)	△34,637	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△113,654	190,367
たな卸資産の増減額 (△は増加)	27,652	39,465
仕入債務の増減額 (△は減少)	△303,980	△1,489,477
その他	41,209	△93,321
小計	△89,015	△763,416
利息及び配当金の受取額	1,137	754
利息の支払額	△3,093	△1,507
法人税等の支払額	△3,800	△47,956
法人税等の還付額	518	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△94,252	△812,126
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△132,013	△13,370
無形固定資産の取得による支出	△3,000	—
投資有価証券の取得による支出	△1,509	△335
投資有価証券の売却による収入	160,033	—
その他	13,599	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	37,110	△13,630
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	—
自己株式の取得による支出	△8	△132
配当金の支払額	△68,816	△68,878
その他	△6,665	△4,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△375,490	△73,216
現金及び現金同等物に係る換算差額	72	10,255
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△432,559	△888,718
現金及び現金同等物の期首残高	1,933,786	1,954,906
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,501,226	1,066,188

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。